

**伊東市民病院で  
ございほす。**

**Vol.5**

**2017**

**March**

**選定療養費に関する大切なお知らせ**

**地域医療連携室 News Letter**

**認知症疾患医療センター  
開設特集**

## センター長挨拶

この度、認知症疾患医療センター長に就任しました。今まで内科医として認知症患者と向き合ってきたりしました。しかしながら、昨今認知症患者の増加に伴い医師だけでなく認知症に関わる院内全ての職種と連携し各種相談に対応できるようチーム体制を整えました。また、厚労省の新オレンジプランからも「認知症の人の意見を尊重し、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」と謳われています。そういった点で院内だけでなく「かかりつけ医」「専門医療機関」「療養型病院」などの医療機関、また地域包括支援センターやケアマネジャー他介護福祉関係者や行政とも連携を密にして認知症患者さんをサポートしていきたいと存じます。認知症の患者さんと御家族が安心して暮らせる町をつくるために、今後皆様の認知症に対する暖かいご理解と、ご支援のほどお願いいたします。よろしくお願いたします。



認知症疾患医療センター長 築地治久

# 認知症疾患医療センター 開設特集

### 認知症疾患医療センター担当職員

事務局 望月聡 社会福祉士 朝日達也 臨床心理士 増田仁美 主任看護師 市川直美 看護部長 馬場貞子  
保健師 曾根典子 精神科医師 夏山卓 センター長 築地治久 精神保健福祉士 高橋裕子 事務局 山本博

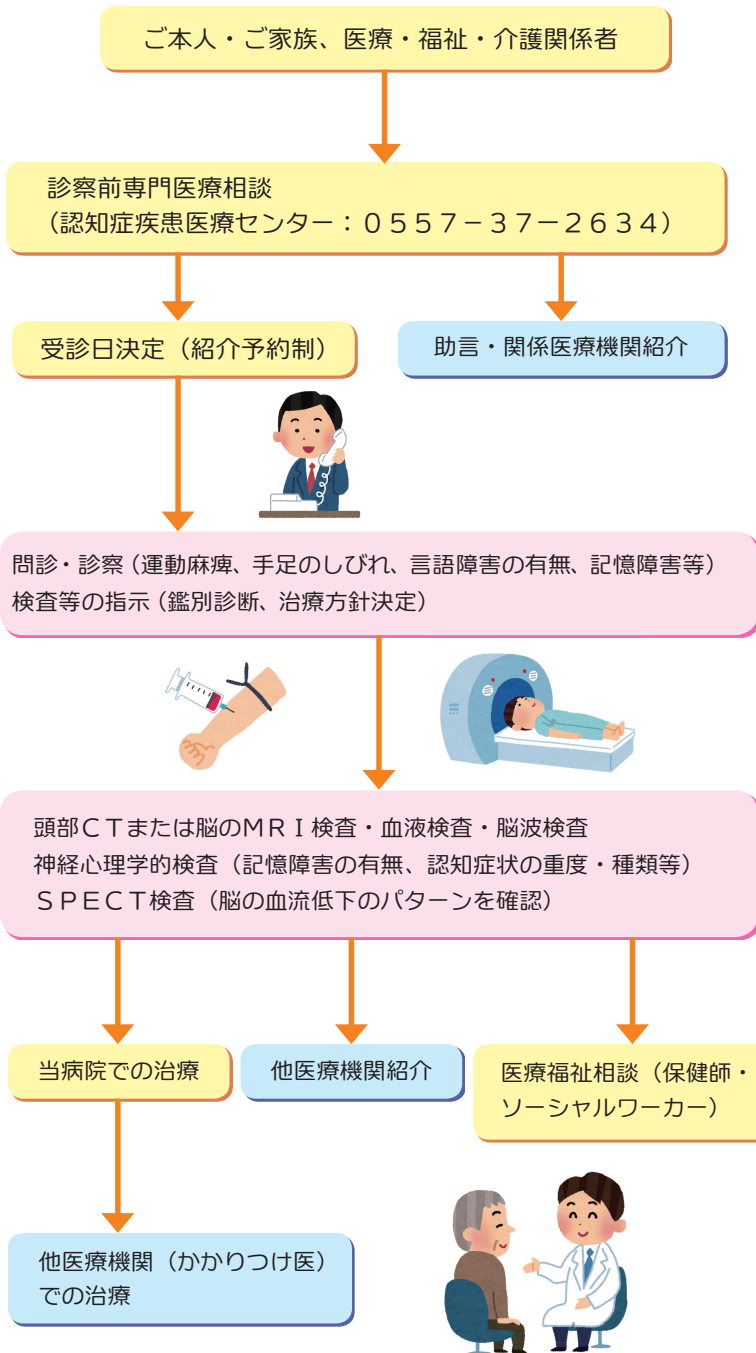


# 認知症疾患医療センターって？

認知症疾患医療センターとは認知症疾患における鑑別診断や専門医療相談、医療機関等の紹介、地域保健医療、介護福祉関係者への研修や連携などを行う専門医療機関です。認知症疾患医療センターの主な業務として、患者家族等の相談対応（専門医療相談）、医療機関等の紹介、鑑別診断とそれに基づく初期対応、身体合併症・周辺症状の急性期対応、かかりつけ医等への研修の実施、地域包括支援センターなど介護サービス提供者との連携、認知症医療に関する情報発信などが挙げられます。診療の分野に関して、認知症外来では本人および家族から、病歴を聴取します。

ご本人が物忘れを心配して、外来受診する場合は単なる物忘れであることが多いです。一方本人に自覚がなくても、ご家族が困って受診するケースはほとんどが認知症です。次に一般身体診察と意識障害、せん妄の有無、構音障害、言語障害、不随意運動、しんせん、固縮、歩行障害の有無などの神経学的診察をします。長谷川式簡易知能スケールなどを用いて、記憶力障害や見当識障害を検出します。空間認知の障害検出には時計描画テストなども行います。治療方針が確定したら、その後の治療はかかりつけ医にお願いすることになります。

## 受診の流れ



## 認知症の早期診断を

### おすすめします

**原因によっては治療が可能です**

「認知症は治療しても治らないから病院に行ってもしょうがない」と思っていますか？実は認知症は早期診断がとても大切です。

**将来に備えることができます**

服薬や生活習慣の改善、適切なケア等で認知機能を保てる期間を長くできる方法を検討できますし、初期の認知症であれば自分で判断できることが多くあるので、かかりつけ医や介護サービスを自分で選んだり今後の生活についてお願いする人を決めるといった準備を進めることができます。

**ご自身やご家族にこんなことはないですか**

- 物忘れがひどくなった
- 人の名前や言葉が出てこない
- 今までできていたことができなくなった
- 新しいことをなかなか覚えられない
- 辻褄が合わない話をする
- 一度にいくつもの作業ができない
- 頻繁に同じものを買ってくるようになった
- 怒りっぽくなった …など

認知症で心配なことがありましたら認知症疾患医療センターまでご相談ください。

伊東市民病院 認知症疾患医療センター

☎ 0557-37-2634

# 選定療養費に関する大切なお知らせ

当病院では、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない初診の患者さんに、通常の健康保険の自己負担金の他に、特定初診料として別途1080円（税込み）をご負担いただいておりますが、平成29年4月1日より3240円（税込み）に変更いたします。

選定療養費とは、「初期の診療は地域の医院・診療所で、高度・専門医療は病院で」という医療の機能分化と連携を図ることを目的として厚生労働省が進めているものであり、200床以上の病院に対して患者さんの自己負担を定めたものです。

今回の料金改定は、地域医療の機能分化をより進め、医師の業務負担の軽減を図りつつ、急性期の高度医療を必要とする患者さんを着実に受け入れ、効率的、かつ、適切に医療を提供するために実施いたします。



## 地域医療連携室

## News Letter



### 医療安全研修会を開催しました

2月16日に医療安全研修会を開催いたしました。今回は練馬光が丘病院安全対策室長である石塚英雄氏をお招きし、「苦情・クレームの未然防止をテーマにご講演をいただきました。

実際にあつた事例をもとに、どのようにして対処したか、未然に防止するための手立てが具体的に説明され、参加した方々から「とてもためになった」と感嘆の声が多く聞かれました。この日は職員149名、外部から32名と大変多くの方にご参加いただき大盛況となりました。



### 集まっておいでよ研修を開催しました

2月27日に集まっておいでよ研修を開催し、「認知症の理解と援助」をテーマに北里大学医学部大学院精神神経科の姜善貴先生が講演されました。

姜先生は認知症の非薬物療法に取り組みられているそうです。抗認知薬については認知機能に直接の影響がないこと、また抗認知薬の副作用で行動障害がおき誤解されやすくなることなどを説明されました。そして、認知症のある人の心情を理解し、問診時は本人を置き去りにせず家族を踏まえたアプローチをすることが大切だということを教えていただきました。

